

カモコシ

2024
VOL. 14

蒲生麓、次の百年へ。

会期：2024年2月3日(土)～25(日)

予約開始日 1月20日(土)～

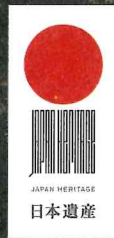
総合予約センター 0995-52-0115

(蒲生ふるさと交流館内・受付時間：9:00～17:00 休館日：火曜日)

会場：鹿児島県始良市蒲生町

主催：日本遺産「蒲生麓」プロジェクト

この事業は、地域振興推進事業（「始良・伊佐地域地域振興の取組方針」推進支援事業）として鹿児島県始良・伊佐地域振興局から助成を受けています。



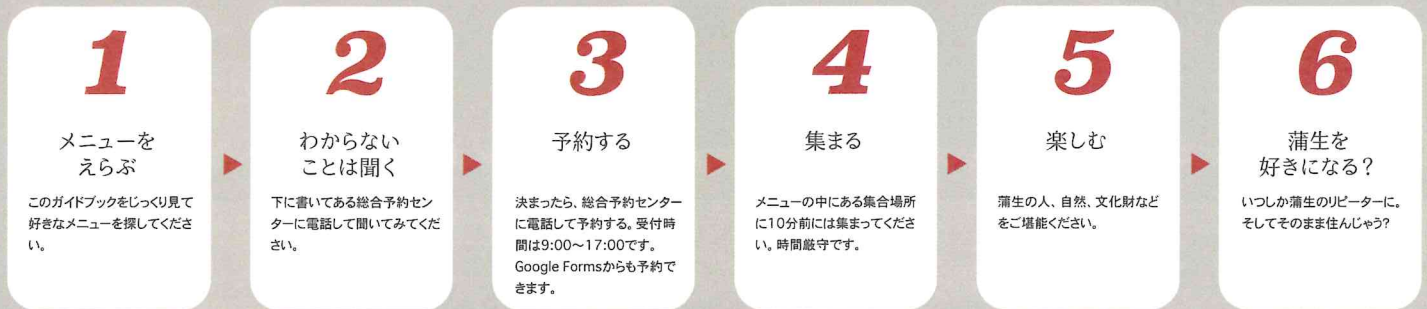
カモコレの楽しみ方

「カモコレ」それは蒲生ワクワクコレクションを省略した呼び名です。2009年の10月に第1回のカモコレが開催されて以降、今回で14回目の開催となりました。

また、鹿児島県では2019年5月に「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群「麓」を歩く～」が日本遺産に認定され、蒲生麓もその一つとなったことから今回のカモコレは「蒲生麓」をテーマとして再発見し、楽しむためのイベントとしています。

そもそもカモコレの目的は、とにかく蒲生に来てもらうこと。そして蒲生の人やモノやコトと出会い、向き合ってもらって、蒲生のファンを増やしたい。そんな思いからスタートしました。そのためにもガイドブックをじっくり見て「やってみたい!」というメニューを探してみてください。まずはそこから始めてみましょう。

カモコレの参加方法



ご予約は総合予約センターへ! 0995-52-0115 予約開始は1月20日より

(蒲生ふるさと交流館内 受付時間は9:00～17:00 火曜日休館)



申し込みはここからどうぞ!



カモコレにご参加にあたっての注意事項

- 天候などによる中止 原則的に雨天決行ですが、危険と判断した場合中止とします。その際は前日午後3時までに予約された方へご連絡します。(連絡のとれやすい携帯番号などを予約時にお知らせください。)
- キャンセル ご都合が悪くなった方は、お早めにご連絡ください。(キャンセル待ちの方へお知らせする必要があります。)
- 保険/事故 最低限のイベント保険に主催者側で加入しておりますが、基本的に自己責任にてご参加ください。
- 問合せ/予約 事業内容に関するお問合せ、予約は総合予約センター(0995-52-0115)までお願いします。

蒲生の場所

蒲生町は鹿児島県の中央にある姶良市の一部です。鹿児島市から車で45分ほどのところです。

カモコレ14のメニュー

01

歴史女子・歴史好き必聴! 蒲生史談会に学ぶ 蒲生麓の歴史

2月3日(土) 10:00～12:00

参加費:1,000円
お茶菓子付き

薩摩藩の麓には共通の歴史やその麓ならではの歴史があります。蒲生の歴史について地域の先生から聞きましょう。会場は昔の文書も数多くあり、昭和初期にタイムスリップした感覚を味わえる、司馬遼太郎氏からも注目されたサムライ会社(蒲生土族共有社)に起源を有する蒲生殖産興業です。



会場の蒲生殖産の武家門は、蒲生城の城門の門扉ともいわれる独特の乳顔が見られる



漆地区で行われた歴史会の様子



■講師

有馬 純之

元県立高校校長。専門は社会。退職後、ふるさと蒲生にて加治木高校同窓会や蒲生育英会など社会教育活動に従事。

■集合場所・会場
蒲生殖産興業株式会社

■定員 10人



02

蒲生歴史探訪1 蒲生氏の時代編 蒲生城と 中世の史跡をめぐる

2月3日(土) 13:30～17:00

参加費:2,000円
お菓子・飲み物付き

今から901年前の1123年に蒲生の地に来て領主となった蒲生氏。蒲生氏の治めた時代が中世の蒲生の歴史です。蒲生八幡神社から蒲生城など蒲生氏関連の史跡を中心に普段出向けないスポットをまわります。地域にひっそりと佇む史跡を訪ねてみましょう。



五輪塔が林立する様が壮麗な蒲生どん墓



聖仏と崇められてきた「電ヶ城磨崖一千貫字仏頭」



■講師

日本遺産「蒲生麓」プロジェクト
(小山田文志)

麓郷士家を継ぐ現役教師。社会教育士として蒲生のまちづくりに取り組む。

■集合場所・会場
蒲生ふるさと交流館

■定員 10人



03

みんなおいでよ!
命をいただく
& 森で自由にあそぼ

2月4日(日) 9:00~10:00 (解体) 参加費:1,200円(解体)
10:00~14:00 (森遊び) 森遊び無料(寄付制)

昔の子は森で小鳥を捕っていたそう。いまは小鳥を捕ることはできませんが、代わりに鶏の解体を間近で見ること「命」を感じてみませんか? その後の森遊びはどなたでもお越しいただけます。

持ち物: 飲物・おむすび・お箸・お椀・お椀に1杯分の薄く切ったお野菜



鶏の解体を学ぶ



森の中で思い切り遊ぼう



■案内人
藤浦 清香

オルタナティブスクール・楠学園の代表。実際の解体の手捌きは達人が、森遊びのナビは学園生がいたします♪

■集合場所・会場
森の学校楠学園
冒険遊び場かむおん
■定員 10人
※森遊びは定員なし



04

プロのカメラマンからコツを伝授
日常も旅先も
素敵にインスタアップ!

2月10日(土) 14:00~15:30 参加費:2,300円
スイーツ代込み

日本遺産に認定された武家屋敷群を歩きながら、日常でも旅先でも使えるSNS映えする1枚の写真の撮り方講座をします。カフェタイムでは、古民家「カフェらびゅう」で、スイーツのお洒落な撮り方をワンポイントアドバイスします。スマホのみOK、お子様連れOKです。



蒲生麓の武家屋敷群の雰囲気をとらえよう



スイーツを美味しそうに撮るには?



■講師
やまぐちめぐみ

写真は記録という名の宝物。人物を被写体にした作品を中心に撮影する写真家として活動。初心者向け、ママ向けの写真講座の講師としても活動中。

■集合場所・会場
カフェらびゅう
■定員 15人



※中学・高校生の受講希望者はスイーツ代のみ1人1,300円でOK!

05

和紙ギャラリーで創る
和綴じ本
御朱印帳づくり

2月11日(日) 10:00~16:00

参加費:
蒲生和紙 8,500円
土佐楮紙 7,500円
奉書紙 6,500円

日本で古くから伝わる和製本。古布などを使って味わい深い趣の表紙を作り、和綴じの本を仕立てましょう。中の本文は和紙と奉書紙で作ります。御朱印帳や写真帳など大切にお使い頂けます。

※昼食は各自お弁当をご持参ください。



御朱印帳のイメージ



色々な種類の表紙。



■講師
野田 寿子

紙布織をしつつ、28年前より蒲生にて和紙を使った工芸品も作っています。

■集合場所・会場
和紙ギャラリー
■定員 6人

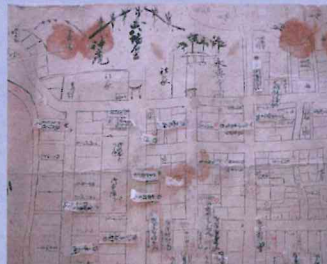


06

蒲生歴史探訪2 江戸時代編
近世の
蒲生麓のまちをあるく

2月17日(土) 9:00~12:00 参加費:2,000円
昼食(蕎麦)付き

蒲生麓は約300年前に新たに整備され、薩摩藩内随一の景観美で知られました。この麓の町並みを歩いて建物などの文化財や町づくりの知恵に触れながら、江戸時代の郷土の暮らしや生き方に思いを寄せてみましょう。



江戸時代の古地図だが蒲生麓は現在もほぼこのままの町割りが残っている



蒲生郷土はサムライの時代が終わると、たとえば製油業などに生き方を覚えていきました



■講師
日本遺産蒲生麓プロジェクト(小山田丈志)
麓郷土家を継ぐ現役教師。社会教育士として蒲生のまちづくりに取り組む。

■集合場所・会場
蒲生ふるさと交流館
■定員 10人



07

薩摩武士の暮らしと嗜み

薩摩琵琶
を聴く

2月18日(日)14:30~16:00

参加費:3,500円
ぜんざい・桑茶付き

鎌倉時代以来の歴史を有し、胴を大きなバチで叩き付けて勇猛豪壮に弾奏する薩摩琵琶は、薩摩の武士のたしなみとして育まれてきました。薩摩武士も食べたであろう善哉を郷土屋敷でいただきながら、麓に生きた郷土の暮らしの一場面を体験してみましょう。



叩いて奏でる薩摩琵琶



自慢の栗ぜんざいを召し上げ



■講師
島津義秀

加治木島津家13代当主、薩摩琵琶演奏家。精矛神社宮司職の傍ら、薩摩武士道の精神を継承し、野太刀自顕流の修行にも励む。

■集合場所・会場
カフェらびゅう

■定員 25人



08

歴史の空気感を肌で感じる

蒲生麓で
元気丸出しツアー

2月23日(金・祝)8:00~10:00

参加費:1,500円
力餅付き

蒲生八幡神社の大クスさんの周りて樹林気功をして気を養い、その後「氣」の視点で地元民しか知らない蒲生麓内の祠などのスピリチュアルスポットを地域秘話を聞きつつ訪ね歩きます。最後は「市風(いちかぜ)」に吹かれると風邪をひかないと言われる蒲生市で力餅を頬張ります。



大クスでの深呼吸の様子



米丸マールの絶景スポット&集落の祠を見て回ります



■講師
丸野博和

木の丸庵主宰。整体師をしつつ、公民館や病院で健康講座(気功・マインドフルネス)を行う。大楠気功会(大クスでの気功&朝ヨガ)は毎月1回実施している。

■集合場所・会場
蒲生八幡神社

■定員 8人



09

当時の日常食を作って食べよう

薩摩郷土の
食養生

2月24日(土)10:00~13:00

参加費:3,500円
(高校生以下:2,000円)
食材費込み

「農耕士族」と呼ばれた麓郷土は質実剛健を旨とし、赤穂浪士討ち入りの日は「あわんなつ」を食すなどの伝統を守り伝えてきました。当時の食事は芋や雑穀、野菜などが中心でしたが、現代の栄養学から見ても実に理にかなった食生活とも言えます。そんな郷土の食の世界を味わってきましょう。



そばずい(写真)・ゆなます・押し大豆の卵とし・あわんなつ作りを計画中



みんなで調理してみましょう



■講師
千葉しのぶ

NPO法人霧島食育研究会 理事長 管理栄養士・フードコーディネーター。「鹿児島島の食と心」を、次世代に伝え継ぐことをテーマに食育・食文化に関する活動を行う。

■集合場所・会場
蒲生公民館

■定員 12人



10

薩摩武士の暮らしと嗜み

天吹を聴く

2月25日(日)10:00~11:30

参加費:1,000円
(お茶菓子代)

天吹は尺八に似た竹製の縦笛。薩摩の武士が好んで吹いていたと言われています。蒲生・出水・国分・加世田等の麓で実物や文献が残っています。各地で伝わってきた物語を学びつつ、天吹の伝承曲に耳を傾けましょう。



天吹(県指定無形文化財)



天吹の調べを味わってきましょう



■講師
白尾國英

天吹同好会 会長兼師範。薩摩に伝わる天吹を未来に継承する活動を行う。子ども時代は郷中教育の流れを汲む学舎・青雲舎(加治木)に所属。

■集合場所・会場
蒲生殖産興業株式会社

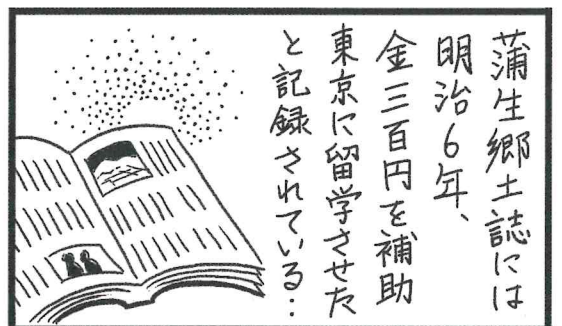
■定員 10人



GHQも恐れたサムライ会社

士族共有社とは

蒲生では士族たちが未来を見据えて幕末期に藩有林の払い下げを願い出、「蒲生士族共有」として活動しました。蒲生の500余名によって組織され造林事業を行い新しい時代に即した人材育成を重視しました。そのサムライ会社が先の大戦直後決起するとの噂が流れ、米軍は夜襲部隊で蒲生郷を包囲したことも。作家の司馬遼太郎が取材に訪れ驚いた記録が残っています。



中に入って見られる蒲生麓の郷土屋敷

日本遺産・蒲生麓の武家屋敷群の古民家の中には店舗としてリノベーションし現代に活用している事例があります。基本的に建築の基本構造は守りつつ、中に入ることができ、古の生活を偲ぶことができます。ぜひ武家屋敷や古民家の雰囲気味わってみてください。

こちあん 心地庵

「有機農業に携わりたい」と坂野さん夫婦が大阪から移住、築百数十年の古民家と縁ができて、仲間たちと改装。地元の有機野菜や庭で収穫した果実を中心とした、ピザ焼き体験ができるカフェとして2012年にオープン。

始良市蒲生町上久徳2777
駐車場 8台
営業時間 11:00～17:00
(ランチは15:00 LO/カフェ16:00 LO)
定休日 月・火曜日
050-1338-3794



元々は初代の蒲生町長・赤塚氏の邸宅だった(2009年9月頃撮影)



現在の様子。手作りの看板などが追加された



和の風合いを活かした素朴でシンプルな空間。赤いベンガラによる漆喰の塗壁が特徴。ご主人による手作りの家具や調度品も味わい深い



人気メニューの「前菜&サラダ・スープとピザ(ピザ焼き体験付き)のセット」1,320円(税込)



坂野さんご夫婦、二人とも大阪府からのリターン

かふえらびゅう カフェらびゅう

築120年以上の武家屋敷・松下邸を旧蒲生町が購入。現在は始良市の施設となっている。2011年に古民家カフェ『あいらスイーツカフェらびゅう』として開業。2018年に『カフェらびゅう』としてリニューアルオープン。

始良市蒲生町上久徳2324
駐車場 蒲生観光交流センター駐車場利用(35台)
営業時間 9:00～17:00
(ランチは15:00 LO、スイーツドリンクは16:00 LO)
年中無休
080-2772-5644



古い建物に鮮やかなグリーンが映える



武家門の様子



人気メニューの「蒲生山菜おこめん」1,370円(税込)



カフェらびゅうのスタッフのみなさん



内装にも始良市の蒲生和紙や粘土人形、龍門司焼などを活用し、地域の特徴が出るよう工夫している。障子の格子組みをうまく活かしたインテリアが楽しい演出になっている

かもうさろう ぜんざい 蒲生茶廊zenzai

浜地さん夫婦が、大阪でのデザイン業、鹿児島県頰娃町での有機農業を経て2005年に蒲生町の清水邸に移住。翌2006年に古民家カフェとして開業。自家菜園や地元有機野菜など素材にこだわったランチやスイーツを提供。ギャラリーも併設している。

始良市蒲生町上久徳2425
駐車場 9台
営業時間 9:00～17:00 (16:30 LO)
定休日 金曜日
0995-52-1164



昔は麦カヤ葺きの屋根で、濡れ繕だった。昭和30年代(約70年前)の写真



現在は瓦葺きになり、玄関部分も増築されている



L型の縁側の建具は木製。築約150年の住宅はほぼそのままに、モダンな家具や照明器具を活用することで、伝統と先進との調和を図っている



人気メニューの「曲げわっぱランチ」1,450円(税込)



浜地さんご夫婦。ご主人は大阪府、奥さんは岡山県からのリターン

古民家・番外編 センペンバンカ Senpen banca.

京都府出身のフォトグラファー 齋藤 弦さんが2022年に開業。写真スタジオだけでなく、アクセサリ工房やギャラリーなど多目的に使える空間として気軽に立ち寄れるスポットに。

始良市蒲生町上久徳2307-5
(蒲生八幡神社 鳥居のとなり)
営業時間 9:00～17:00 不定休
0995-52-0366

※スタジオ撮影中の場合などお入りをご遠慮いただく場合があります。



約70年前の様子。鳥居左の建物は以前食堂があった。基本的にはあまり現在と変わらない



現在の様子。鳥居左の建物が「センペンバンカ」



白とグレーを基調とした明るい空間。約100年前の建物を改装、工事中に明治時代のお金が出てきたとのこと。



家族写真の撮影の様子。



齋藤さんご夫婦、奥さんの美知子さんも大阪府の出身。

9つの構成文化財

日本遺産に認定されている
“蒲生の宝”9つをご紹介します



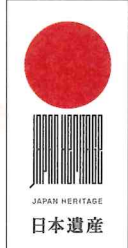
中に入って見られる
蒲生麓の郷土屋敷



5 おかりやいぬまき(ひとつば)
御仮屋犬槓(一ツ葉)
市指定天然記念物
蒲生地頭御仮屋の表庭に植えられていた樹で、樹齢約400年、樹高10m、根回り4m。幹内は空洞化しているが、樹勢は保たれている。

6 かもうおかりやもん
蒲生御仮屋門
県指定有形文化財(建造物)
蒲生地頭御仮屋の正門で、文政9年(1826)に再建された。乳鋳を打った観音開きの大扉や不浄門などに当時の面影を見ることができる。

8 かもうのかみすき
蒲生の紙漉き
県指定伝統的工芸品
蒲生は古くから手漉き和紙の製造で知られ、島津家の家老職が武士に藩の御用紙を製造させたのが始まりとされている。



日本遺産とは
各地域の文化・伝統を語るストーリーを日本遺産として文化庁が認定。それを語る上で欠かせない、魅力ある有形・無形のいろんな文化財を総合的に活用し、情報発信を行うことなどにより、地域活性化を図ろうとするもの。
鹿児島県では、令和元年5月に「薩摩の武士が生きた町〜武家屋敷群「麓」を歩く〜」が県内唯一の日本遺産に認定された。鹿児島県、鹿児島市、出水市、垂水市、薩摩川内市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、南九州市、始良市の1県9市の自治体で構成されている。



1 かもうふもと
蒲生麓
旧蒲生町は薩摩藩独自の外城制度で薩摩古流の兵法に基づく、美しく機能的な町割りを残している。数多くの武家門が残っているのも特徴。

蒲生は見どころ盛りだくさん！
ゆっくりと散策してみてください



山を使って
築城されたんだねー



4 かもうじょうあと
蒲生城跡
市指定記念物(史跡)
保安4年(1123)に築城された蒲生氏の居城で、蒲生を統治した山城。標高160mの龍ヶ山にあり、竜が伏したような地形から「竜ヶ城」とも呼ばれる。

7 かけはしざか
掛橋坂 県指定記念物(史跡)
蘭半田・祁答院と蒲生を結ぶ全長661mの地方街道。江戸時代には帖佐郷にあった薩摩藩の御蔵までの年貢米輸送などに利用されていた。



9 たいこどり
太鼓踊り 市指定無形民俗文化財
島津義弘公由来の伝統芸能。蒲生では義弘公命日の旧暦7月21日(現在は8月21日)に一般公開し、蒲生八幡神社へ奉納している。



蒲生では
3つの保存会で
伝承されているよ



大クスの
迫力と
神秘性に
感動！



2 かもうのおおくす
蒲生の大クス
国指定特別天然記念物
蒲生八幡神社の境内に立つ、樹齢1,500年を超える大クス。樹高30m、根回り33.57m、目通り幹回り24.22m。昭和63年(1988)の環境庁調査により、日本一の巨樹と認定された。



3 かもうはちまんじんしゃ
蒲生八幡神社
保安4年(1123)に蒲生氏初代が、豊前国宇佐八幡宮を勧請して創建。島津義弘による社殿や鳥居の修築以降は、歴代薩摩藩主の厚い保護を受け、また蒲生の総社として広く崇敬されている。



日本遺産 NEWS



日本遺産の蒲生麓。その価値や魅力をあらためて見直し、再発見する取り組みがいろいろ始まっています。ぜひ参加してみてください！

2/23実施！江戸時代から続く 蒲生市 & 大クスマルシェ



色んな出店が並ぶ蒲生市の賑わい



蒲生観光交流センターで年2回開催される大クスマルシェ

藩政時代から続く蒲生市。時代とともに小規模になりつつも12月と2月に行われています。今年は2月23日(金・祝)に実施。ファミリーマートの交差点から鹿児島銀行にかけての通りを中心に市が並びます。また、現代版の市「大クスマルシェ」は蒲生観光交流センターにて年2回行われています。次は5月に実施。市にマルシェに蒲生ヘカモン！

今年は辰年！ 龍が立つ蒲生八幡神社



荘厳な龍柱。江戸時代に琉球文化の影響を受け造られたと伝えられている



昨年創建900年を迎えた蒲生の総社・蒲生八幡神社。今年は辰年。実は本殿内側には龍と瑞雲を絡ませた柱(龍柱)があります。霧島神宮・鹿児島神宮と共に全国8つの神社にしかないと言われるほど貴重。正式参拝の際に見ることができます。創建1000年に向け、神木である日本一の巨樹・大クスと共に、始良市を代表する観光スポット・パワースポットとして、これからも多くの人に集っていただきたいです。

いつも愛らしい猫の八(ハチ)ちゃんが迎えてくれる

蒲生の魅力を今・未来に！ 日本遺産「蒲生麓」プロジェクト



蒲生郷発見研修でのまち歩き



定例会の様子

「日本遺産」を蒲生のまちづくりに活用しようと、毎月の定例会にはメンバー20人が集い、熱く語り合っています。活動の軸は、蒲生に来て魅力を感じてもらい「観光」と蒲生の良さを未来につなぐ「郷土教育」。蒲生の学校に勤める教職員を中心に蒲生の歴史や取り組みを学ぶ「蒲生郷発見研修」や、東川隆太郎さんやメンバーが始良市内の小・中・高校で郷土について伝える「出前授業」を行なっています。

標柱がきれいに まちかどサインがリニューアル



蒲生麓の通り(馬場や小路)の角に設置されています

蒲生麓は、江戸時代の街並みをそのまま残しています。通り(馬場や小路)の端々に案内標柱を設置し、通り名を記しています。このたびリニューアルされた標柱にはQRコードがあり、スマホでそれを読み込むと昔の写真や通り近くのトピックが表示されます。



サインには地図により現在地が表示されていてQRコードからも情報が取り出せます。

吉川晃司が蒲生に来了！ NHK新街道をゆく「肥薩のみち」



坂島をバックに示現流の構えをする吉川晃司さん

作家・司馬遼太郎は、紀行文学『街道をゆく』で昭和47年に蒲生を訪れました。その際、サムライ会社(士族共有社:現在の蒲生殖産興業)に関心をもち、「肥薩のみち」で取り上げています。その足跡を辿るNHK番組でこの度、吉川晃司さんが蒲生に來られました。司馬さんと吉川さんのサインを見たい人は「そば処にいな」へ！

※写真: NHKホームページより
番組はNHKオンデマンドでご覧いただけます。

これであなたもオトモダチ 日本遺産「蒲生麓」ポロシャツ販売



「日本遺産 KAMOU FUMOTO」が背中にデザインされています。

日本遺産に認定された「蒲生麓」を多くの人に知っていただき、気運を高めるムーブメントとして始良市職員の協力をかけポロシャツを作成しました。おかげさまで素敵なデザインに仕上がりました。蒲生観光交流センターで販売(2,300円)しています。ぜひ、取り組みにご参加ご協力下さい。



※収益は全て、日本遺産を活用したまちづくりや郷土教育の事業に活かしていきます